

令和 4 年度

川崎市立川崎高等学校附属中学校入学者決定検査

# 適性検査Ⅰ（45分）

— 注 意 —

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は全部で2つあります。こちらから開くと**問題1**（全5ページ）になります。**問題2**（全6ページ）は反対面から始まります。
- 3 問題をよく読んで、答えはすべて解答用紙の決められたらんに、わかりやすくていねいな文字で書きましょう。解答らんの外に書かれていることは採点しません。
- 4 解答用紙は全部で**3枚**あります。
- 5 計算やメモが必要なときは、解答用紙には書かずに、この問題用紙の余白を利用しましょう。
- 6 字数の指定のある問題は、指定された条件を守り、**問題1**はたて書きで、**問題2**は横書きで書きましょう。最初のマスから書き始め、文字や数字は一マスに一字ずつ書き、句読点「。」やかっこなども一字に数え、一マスに一字ずつ書きます。ただし、**問題1**の(5)は、その問題の「注意事項」の指示にしたがいましょう。
- 7 「やめ」の合図があつたら、途中でも書くのをやめ、筆記用具を机の上に置きましょう。

**問題1** 次の**あ**、**い**、**う**の文章は、「ある一つの事がらに対して、

三人がそれぞれ自分の立場で書いている」物語です。三つの文章を読んで、あとの(1)～(5)の各問いに答えましょう。

**あ** はなこの視点

① わたしは、自分の部屋のドアを閉めた。もう一生このドアを開けてやるものか。もうだれにも会いたくない。自分は悪くない。自分を世界で最も不幸な人物に仕立て上げるような、そして自分を正当化するような言葉の数々が、わたしの頭の中を通りぬけていく。

わたしは、納得なっとくできないことがあるといつもこうなる。でも、こうして自分を悲劇のヒロインに仕立て上げないと、一度閉めたドアを自分で開けられないのだ。「次の四月で中学生なのに」「大人になってもこの性格が直らなかつたらどうしよう」と思い、あせることもあるのだが、そんな簡単に自分を変えられない。

今日わたしがこうなった理由も、大したことではない。五歳上さいの姉、けいこ姉ちゃんとのケンカである。けいこ姉ちゃんが言っていることもよくわかる。けいこ姉ちゃんはいつも正しい。わたしはお姉ちゃんたちとよくしゃべるからわかる。でも、今日は、はげましてもらいたかった。自分でもわかっていることを、改めて言われるのが嫌いやだった。そしてさらに、今日は一歳上のように姉ちゃんも入ってきた。「わたしだったら、

あなたと友だちにならない。」この言葉が聞こえたとき、なみだがこぼれ、言葉が出なくなつた。自分の思いを表現するためには、閉じこもるという方法しかとれなかつた。

② しばらくすると、階段をのぼってくる足音が聞こえてきた。このころやかな足音は、けいこ姉ちゃんである。わたしが自分の部屋に閉じこもっていると、まず部屋に来るのはけいこ姉ちゃんだ。そして、けいこ姉ちゃんのひと音で、いつもわたしは簡単に部屋のドアを開けてしまう。

ドアの向こうから声が聞こえた。「さつきはごめんね。ようこがあんな風に話に入ってくるとは思わなくて。」

いや、けいこ姉ちゃんは悪くない。ようこ姉ちゃんだって正しい。わたしが受け入れられなかつただけだ。ここまでわかっているのに、なんで、いつもけいこ姉ちゃんに先にあやまらせてしまうのだろう。なんだれかのせいにしてしまうのだろう。でもわたしは素直すなおになれず、まだおこっているふりをして部屋のドアを開けた。けいこ姉ちゃんは、少し困つたような顔をして、ドアの前に立っていた。

**い** けいこの視点

二階で、ボタンと大きな音がした。「また閉じこもつた。何でいつも自分が悪いと思えないのだろう。ねえ、

お姉ちゃん。」

ようこはあきれたように言ったが、わたしはうわの空で「うーん。」などと適当な返事をして、さて、この後どうするか、と考えていた。

はなこが部屋に閉じこもったのは、わたしとのケンカが原因である。

はじめは、ケンカではなかった。はなこの人間関係の悩みを聞いていただけだった。わたしたち姉妹は三者三様だが、気がつくといつも三人で話をしている。この時が、一番楽しくて落ち着く。今日も最初はそうだった。でも、はなこにも悪いところがあることを伝えたところから少しずつ、はなこの様子が変わっていった。

たぶん、はなこは自分のいけないところがわかっていた上で、わたしに相談してきたのだと思う。そしてわたしは、はなこが友だちについてしまった気持ちを認めつつ、「そんなに気になるなら明日その友だちにあやまってみなよ。」そう言うべきだったのだと思う。わたしは頭のどこかでそれがわかっていた。しかし、わたしにも曲がったことがゆるせない、がんこなところがある。その性格が出てしまった。

ようこのひと言は、はなこには、かなり効いたようだった。ようこの言葉を聞くと、はなこは、静かになみだを流し、二階へかけあがっていた。

ようこに何かを言ってもしかたがない。とりあえず、はなこが望んでいたであろうことを出来なかった自分の行動をあやまろう、そう思って、

わたしは二階へ行った。

部屋の前についた。深呼吸をしてからこう言った。

「さつきはごめんね。ようこがあんな風に話に入ってくるとは思わなくて。」

あれ。わたしは自分が出来なかったことをあやまろうとしていたのに、なぜ、ようこのことを話しているのか。結局、ようこの一言のせいにしていないか。言い直すか。いや、言い直すのはおかしい。あれこれ考えているうちに、目の前のドアがゆっくりと開き、はなこが顔を出した。おこっているかなと思っただが、悲しいとくやしいを混ぜたような、想像とはちがう表情だった。

#### ⑤ ようこの視点

「はなこのその友だちへの態度、気に入らないな。わたしだったら、はなことは友だちにならない。」

はなこはなみだを流し、勢いよく階段を駆け上がった。部屋を閉める大きな音がした。

姉は、そんなはなこの様子を見て、何か考えこんでいるようである。

わたしは姉に向かって、こう言った。

「また閉じこもった。はなこは何でいつも自分が悪いと思えないんだろう。ねえ、お姉ちゃん。」

この言葉に、姉は「うーん。」と言うだけだった。「ねえ、聞いてる？お姉ちゃんはいつも考えすぎなんだよ。放っておけばいいじゃん。」と言おうとしたけれど、やめた。何かを言えば言うほど、「自分は悪くない」と強調しているようで嫌になるからだ。

わたしたち三姉妹は、みんなそれぞれ性格がちがった。はなこは子どもっぽい。すぐ笑い、すぐ泣き、すぐおこる。一方姉は、とても大人っぽい。いつも考えてから行動に移し、家族のだれよりも落ち着いている。

わたしは感情を表に出すのも、考えることも、好きではない。何事もほどほどが一番だ。今だってそうである。閉じこもるはなこ、はなこをどうしようか考えている姉、どうでもいいと思っているわたし。正直、みんな好きにして、という感じだ。でも、こんなにみんなちがうのに、わたしたちはいつも三人でしゃべっている。学校でのこと、好きなテレビ番組のこと、悩みなど、話題で困ったことはない。そして、楽しい。

そんなことをあれこれ考えている間に、姉が二階へ上がっていった。姉はドアに向かって何かを話しているようだが、よく聞こえない。その後、二人はなかなか下に降りてこなかった。「まあ、はなこが閉じこもるきっかけをつくったのはお姉ちゃんだし。」わざと聞こえるように言った。そして、部屋にむなしくひびく自分の声を聞きながら、姉やはなこのようになれない自分に、あきれた。

【いずれの文章も、適性検査のための書き下ろし】

(1) **あ**、**い**、**う**の三つの文章を読み、三姉妹の構成の組み合わせで正しいものを一つ選び、番号で答えましょう。

1. 長女はなこ 次女けいこ 三女ようこ
2. 長女はなこ 次女ようこ 三女けいこ
3. 長女けいこ 次女はなこ 三女ようこ
4. 長女けいこ 次女ようこ 三女はなこ
5. 長女ようこ 次女けいこ 三女はなこ
6. 長女ようこ 次女はなこ 三女けいこ

(2) **あ**、**い**、**う**の三つの文章の内容として正しいものを一つ選び、番号で答えましょう。

1. 三姉妹が他の姉妹の事を批判し、仲が悪くなるという内容
2. 三姉妹がそれぞれ自分の意見の正しさを伝えるという内容
3. 三姉妹がそれぞれ自分の行動や性格を振り返るという内容
4. 三姉妹が解決に向けて協力し、信頼関係が増すという内容

(3) — 線①、— 線②に対応する、「同じ時間に起こっていること」を、それぞれ文章**い**と文章**う**から十五字以内で書きぬきましょう。

(4) **あ**、**い**、**う**の文章を読んだたろうさんは、感想文を書くことにしました。次の文章は、たろうさんが書いた感想です。この感想を読み、次の(ア)から(ウ)の問いに答えましょう。

ぼくには兄弟や姉妹がないので、実際の三姉妹がどんなものかはよくわかりません。そのため、それぞれ三姉妹のちがうところと似ているところを中心に考えました。

まず、ちがうところです。これは、**A**の視点で書かれている通り、三人の性格です。うれしい、悲しいなど感情をしっかりと表現する**B**、よく考え、落ち着きのある**C**、そしてその二人をなげやりな態度で見ている**D**。このように、三人の性格は全くちがいます。でも、いつもは三人とも仲が良いのだろうと思います。そのように思う理由は、**い**と**う**の文章に「三人で**1**」という内容が書いてあるからです。

次に、似ているところです。これも三人の性格です。「あれ、さつきと言っていることがちがう。」と思うかもしれませんが、ぼくはちがうところもあり、似ているところもあると感じました。そう思ったのは、**あ**、**い**、**う**それぞれの文章をじっくりと読み比べたときです。はなこは、最初「自分を正当化するような言葉の数々」をくり返していますが、最後は「わたしが受け入れられなかっただけ」と言っていました。けいこは「自分の行動をあやまろう」としたのに、「あれ。わたしは自分が出来な

かったことをあやまろうとしていたのに」と自分の行動をおかしいと感じていました。ようこは、「何かを言えば言うほど、『自分は悪くない』と強調しているようで嫌になる」や「姉やはなこのようになれない自分に、あきれた」と言っています。これらの言葉から、三人は**2**の気持ちに**3**になれないところが似ていると感じました。

三姉妹の性格は、ちがうところも似ているところもありました。これは、友だち同士でも同じように言えることだと思います。クラスの友だちでも、性格が似ていると感じる人とちがうと感じる人がいます。いつも仲良しでいたいけれど、ケンカをしたり言い争いになったりすることもあります。自分のことをわかってほしくて、相手に強く自分の主張をしてしまうこともあります。性格のちがう相手と人間関係を築くにはどうしたらよいか、そんなことを考えるきっかけになりました。

(ア) 空らん **A** から **D** に入る人物名をそれぞれ三字で書きぬき  
ましょう。

(イ) 空らん **1** にあてはまる言葉を、**い**、**う**の文章の中から共通する内容を探し、十字以内で書きましょう。

(ウ) たろうさんは、三人の性格について——線③のように結論づけました。たろうさんは、三人の行動や言葉から何が似ていると感じたのか、空らん 2 と 3 にあてはまる言葉を、書きましよう。

(5) ——線④「性格のちがう相手と人間関係を築くにはどうしたらよいか」について、あなたが自分とは性格のちがう相手と接することになった場合、どのように相手と接しますか。あ、い、うの文章から読み取れるはなこ、けいこ、ようこの中のだれかの行動や考え方について触れ、あなたがどのような気持ちで相手と接するか書きましよう。また、相手に対して具体的にどのような行動をするかについても書きましよう。作文を書く時は、後ろの「注意事項」に合うように考えや意見を書いてください。

「注意事項」

- **解答用紙2**に三百字以上四百字以内で書きましよう。
- 原稿用紙の正しい用法で書きましよう。また漢字を適切に使いましよう。
- はじめに題名などは書かず、一行目、一マス下げたところから書きましよう。自分の名前は、氏名らんに書きましよう。
- 三段落以上の構成で書きましよう。

○ 句読点「。、」やかっこなども一字に数え、一マスに一字ずつ書きましよう。また、段落を変えたときの残りのマス目も字数として数えます。

**問題 2** たろうさんとはなこさんがけいこ先生と教室で話しています。次の会話文を読んで、あとの(1)～(8)の各問いに答えましょう。

たろうさん：副読本「かわさき」から、【資料1】の写真を見つけました。

【資料1】副読本「かわさき」で見つけた写真

A



B



はなこさん：Aはすっきりしているけど、Bは煙<sup>けむり</sup>がかかっているのはっきり見えないですね。

けいこ先生：川崎市の臨海部の写真ですね。【(あ)】が1966年ごろで、【(い)】が2021年のものですね。

はなこさん：川崎は昔、公害の町と言われていたのを聞いたことがあります。

たろうさん：そうなんです。でも下の【資料2】の年表を見てください。

【資料2】公害防止に関する主なできごとについて

いつごろ	主なできごと
昭和 30～40 年ごろ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大師地区住民が市議会<sup>せいぎん</sup>に対し請願<sup>せいがん</sup>を行う。</li> <li>・市民による「ばい煙<sup>えん</sup>規制法制定運動」がおこる。</li> <li>・市内中小企業に公害除去施設の助成を開始する。</li> </ul>
昭和 40～50 年ごろ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石油化学 30 社が共同で、公害問題の解決を図るため「川崎地区コンビナート公害研究会」（現、川崎環境<sup>かんきよう</sup>技術研究所）を結成する。</li> <li>・「公害対策基本法」が公布される。</li> <li>・「川崎市公害防止条例」が公布される。</li> </ul>
昭和 50～60 年ごろ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公害の差止めと損害賠償<sup>そんがいばいしょう</sup>を求めた裁判がおこる。</li> </ul>
昭和 60～平成 10 年ごろ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「川崎市環境基本条例」<sup>しこう</sup>が施行される。</li> </ul>

(川崎市環境局『令和2年度環境事業概要—公害編—』より作成)

たろうさん：この年表を見ると川崎市の公害は、①市と会社と市民がそれぞれ改善に向けて取り組んできたことが分かります。

はなこさん：この年表を見て、具体的に川崎市の公害について、その変化を調べてみたくなりました。調べるにはどんな資料がありますか。

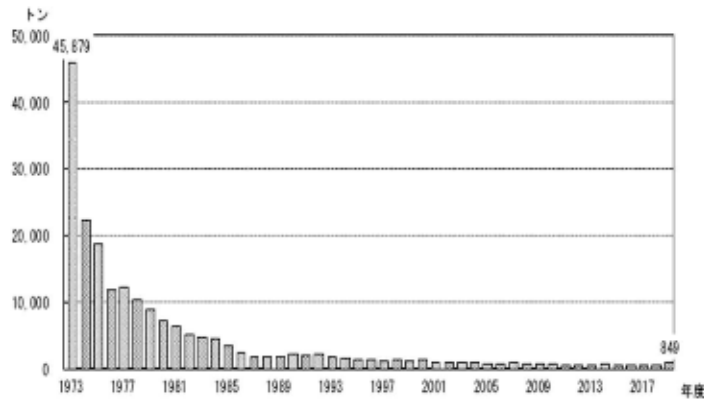
たろうさん：【(う)】の資料は変化についての手がかりになります。

(1) (あ) と (い) にあてはまるものを、[資料1] のA、Bから選び、それぞれ記号で答えましょう。

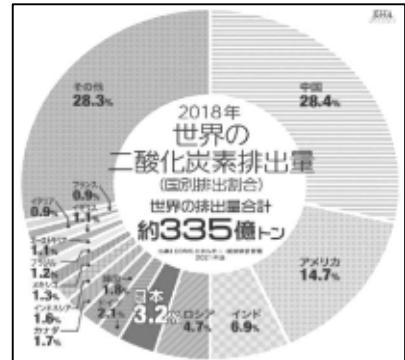
(2) 下線部①について、公害が改善された理由について、市、会社、市民の3つの立場がそれぞれ行ったことを1つずつ書きましょう。

(3) (う) にあてはまるものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

ア 川崎市内工場・事業場<sup>いおう</sup>硫黄酸化物<sup>はいしゅつ</sup>排出量<sup>けいねんすい</sup>の経年推移



イ 世界の二酸化炭素排出量



ウ 川崎市内主要道路



エ 四大公害病

公害病	どこで発生したか
みなまた水俣病 (熊本・鹿児島県)	水俣湾周辺で集団的に発生。
新潟水俣病 (新潟県)	あがのがわ阿賀野川の下流で発生。
四日市ぜんそく (三重県)	四日市で発生。
イタイイタイ病 (富山県)	じんずうがわ神通川の下流で発生したと推定。



けいこ先生：ところで、たろうさんは公害について川崎市と比較するために、先週末お父さんと一緒に県外の町に調べに行ったのよね。

たろうさん：はい、A町に調べに行きました。父の知り合いがA町の工場に勤めていて、A町の公害の歴史についてお話を聞いてきました。

はなこさん：どういう経路で行ったのですか。

たろうさん：②A町のA駅には【資料3】のとおり新横浜駅から名古屋駅まで東海道新幹線で行き、そこから乗り換えて行きました。

はなこさん：そうなんですね。実際に現地に行って調べるって素晴らしいですね。

たろうさん：初めてだったので、A駅を降りた時、その工場にどう行けばいいのか迷ったけれど、③駅前の地図を見たら分かりました。

【資料3】A町までの経路



(4) 下線部②について、東海道新幹線に乗って新横浜駅から名古屋駅まで行く時に通る、神奈川県以外の県名を漢字で2つ書きましょう。

(5) 下線部③について、【資料4】のA駅前の地図を見て、たろうさんが向かった方角と歩いた道のりについてあてはまるものを、次のア～カの中から1つ選び、記号で答えましょう。

ア 西へ約1 km歩き、北へ約1 km歩いた。

イ 西へ約2 km歩き、北へ約2 km歩いた。

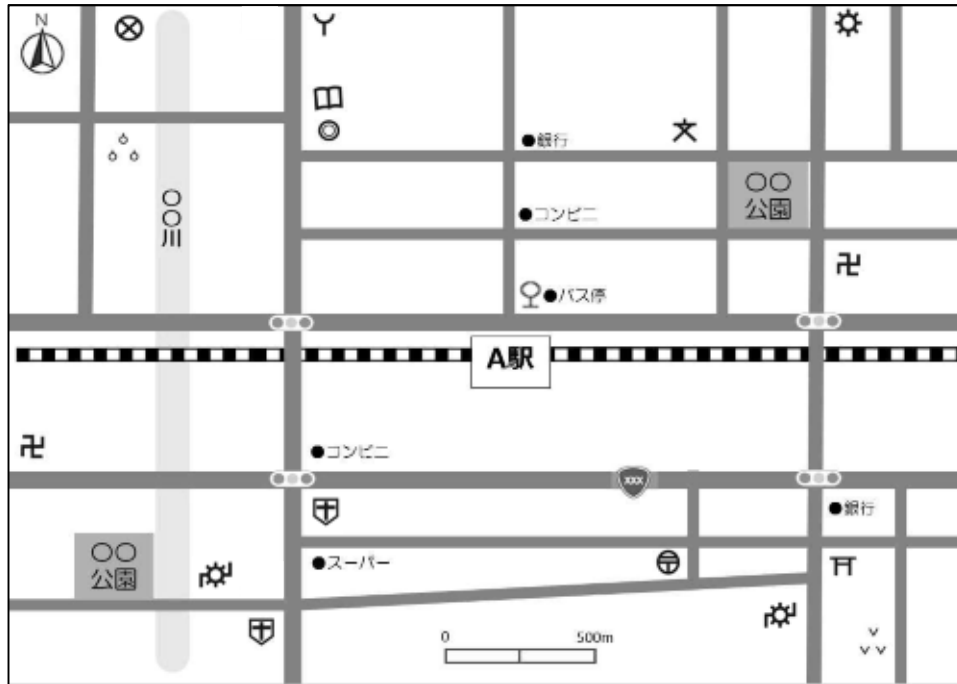
ウ 西へ約1 km歩き、南へ約1 km歩いた。

エ 西へ約2 km歩き、南へ約2 km歩いた。

オ 東へ約1 km歩き、北へ約1 km歩いた。

カ 東へ約2 km歩き、北へ約2 km歩いた。

〔資料4〕 A 駅前の地図



けいこ先生：工場ではどんなお話が聞けましたか。

たろうさん：まず、A町で産業別に働く人数の移り変わりの割合についてお話を聞きました。  
まとめたのが、〔資料5〕の表です。

〔資料5〕A町 産業種別労働者数の変動

	1980年	1990年	2000年	2010年	2020年
農業・林業	22.7%	14.6%	18.5%	13.2%	2.7%
製造業	12.5%	12.0%	11.2%	14.4%	17.0%
医療・福祉	5.0%	9.8%	13.4%	20.1%	23.4%
漁業	10.1%	18.5%	21.2%	8.2%	11.1%
その他	49.7%	45.1%	35.7%	44.1%	45.8%

はなこさん：この表をグラフに表すと〔え〕になりますね。今回は「その他」は除きました。  
先生どうですか。

けいこ先生：そうですね。合っていますよ。

たろうさん：ありがとうございます。他のことについてもたくさん話を聞いてきました。

〔資料6〕がその時にとったメモの一部です。

〔資料6〕たろうさんのメモ

はなこさん：すごいですね。たくさんメモしましたね。

けいこ先生：素晴らしいですね。このメモにある情報を他の人に  
分かりやすく伝えるとしたらどうしたらいいでしょ  
うか、たろうさん。

たろうさん：〔お〕の図表を使ってみたらいいと思います。

はなこさん：確かにその図表を使うと一番分かりやすいですね。

たろうさん：ありがとう。分かりやすいまとめをつくってみるの  
で、完成したらぜひ見てくださいね。

けいこ先生：川崎市とA町について調べてみて、分かったことはありましたか。

はなこさん：2つの市と町には、共通点もありました。〔資料7〕の写真を見てください。工場がラ  
イトで照らされていますね。どちらの市と町も、〔か〕として活用しています。

〔資料7〕川崎市とA町の写真

川崎市の写真



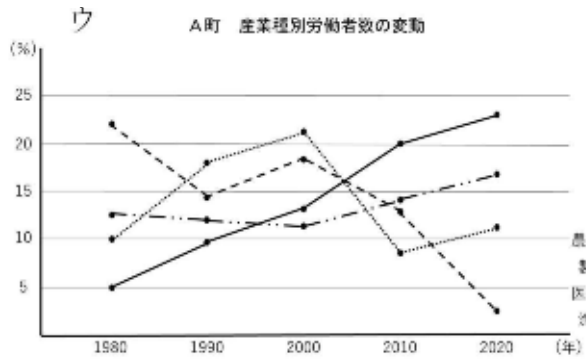
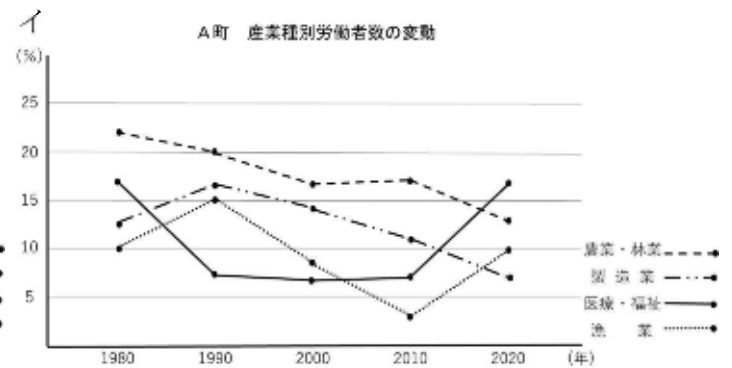
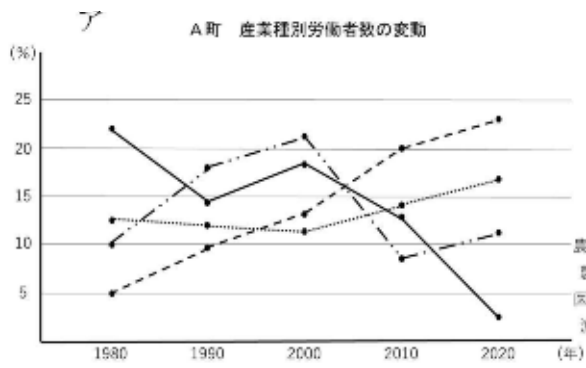
A町の写真



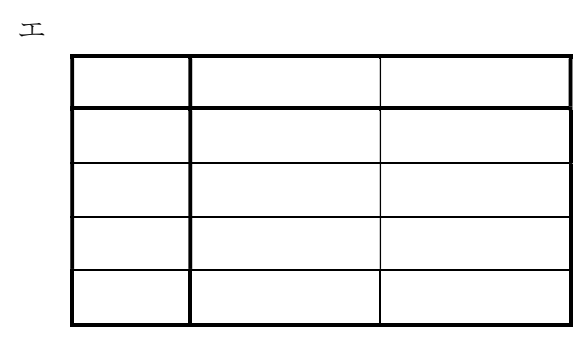
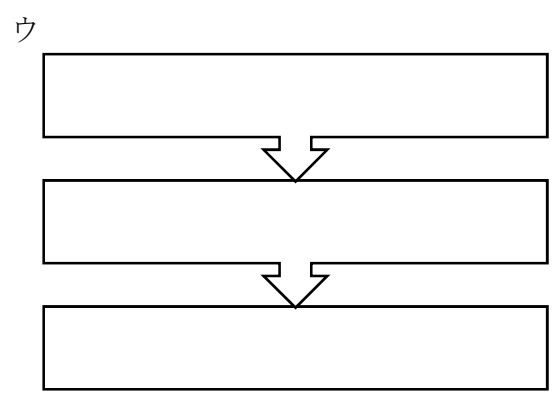
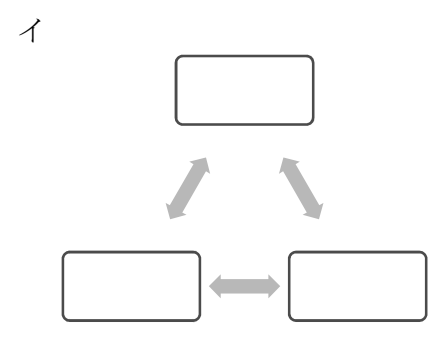
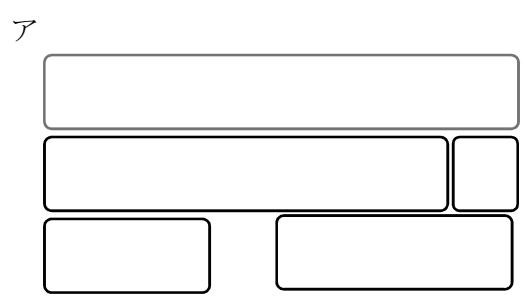
たろうさん：そうなんですね。どちらの市と町も、公害をなくす努力を積み重ね、新たな取組を行  
っているのですね。他の取組についても調べてみたいと思います。

2021・10・9  
A町の工業と公害について（川崎との比較）  
（聞いた人 A町 Bさん）  
・工場の数 23（最盛期）  
（川崎は？一後で調べよう）  
・製造業で働く人の割合  
2020年一全体の17.0%  
（川崎市は15%くらい）  
・公害病患者一最多い時期には834人  
→川崎では1972年に1000人を超えてい  
た  
・主な公害病  
ぜんそく、カドミウム中毒、ヒ素中毒  
（川崎でもぜんそくが流行）

(6) (え) にあてはまるものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。



(7) (お) にあてはまるものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。



(8) (か) にあてはまることばを、10字以内で答えましょう。

適性検査Ⅰ 解答用紙 1

問題 1

受検番号

--	--	--

氏名

--

(1)

(2)

(3)

		線①
		い
		線①
		う
		線①
		う

		線②
		い
		線②
		う

		線②
		う

(4) (ア) A

		線②
		う

C


D


B


(イ)


(ウ)

	2
--	---

	3
--	---

(5)の解答は解答用紙2に書きましよう。

下のらんには記入しない

(4)-(ウ)

(4)-(イ)

(4)-(ア)

(3)

(2)

(1)

合計

問題  
1  
(5)

適性検査Ⅰ

解答用紙Ⅱ

受検番号

Vertical lines for candidate number input

氏名

Large empty box for name input

Main grid for writing answers with vertical and horizontal lines

400

360

300

200

100

20

下のらんには記入しない

Empty box for marking

Empty box for marking

Empty box for marking

Large empty box for marking

適性検査 I 解答用紙 3

問題 2

(1)

(あ)

(い)

(2)

市	
会社	
市民	

(3)

(4)

	(県)	(県)
--	-----	-----

(5)

(6)

(7)

(8)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

受検番号	氏 名

下のらんには  
記入しない

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

合 計